

第4回山口ビーバーカブラリー

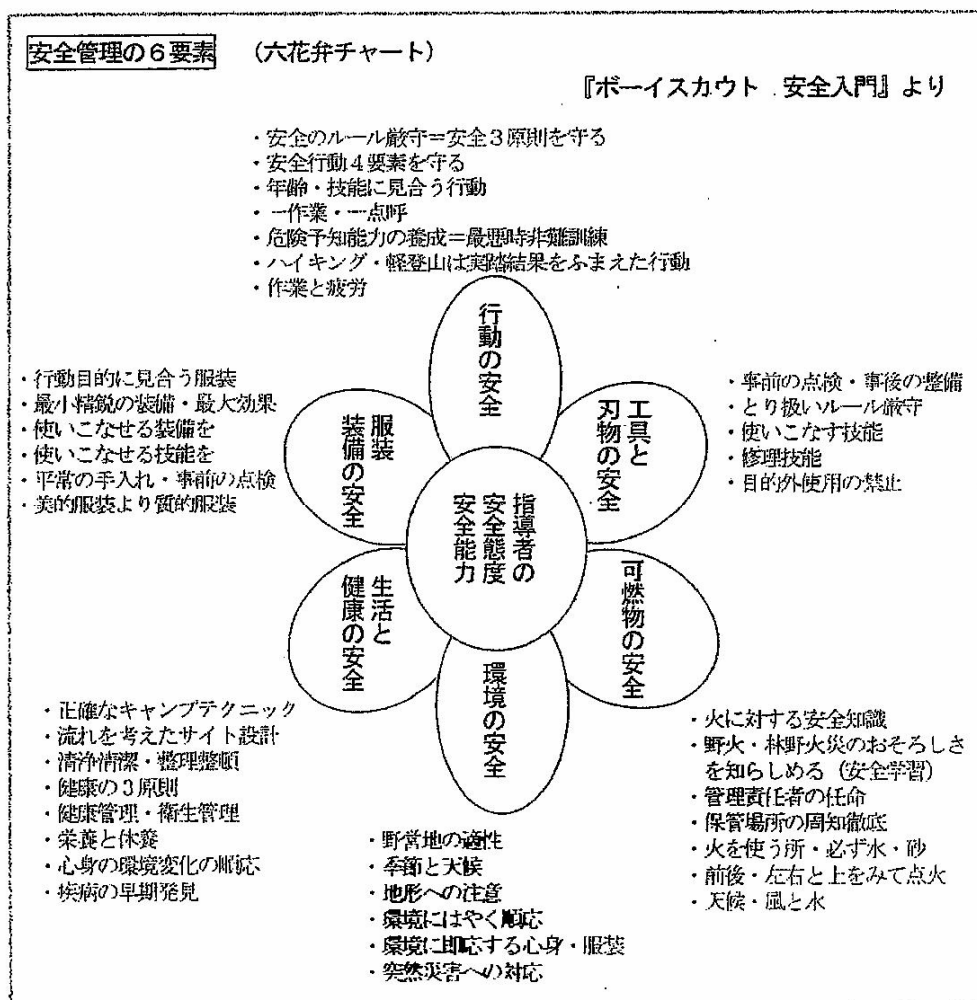
安全管理帳

ボーイスカウト山口県連盟

4 Y B C R 実行委員会・救護安全班

大会の安全管理体制について

- (1) 今回の「第4回山口ピーバーカブラリーの安全・衛生・環境の管理」はボーイスカウト日本連盟の野外活動マニュアルを参照に運営しましょう。
- (2) 行事に関しては、この「大会運営・準備要領」のルールを遵守し、安全な運営に徹しましょう。
- (3) 本部からの連絡・情報の漏れが無いように注意しましょう。
- (4) 参考【安全管理の6要素】



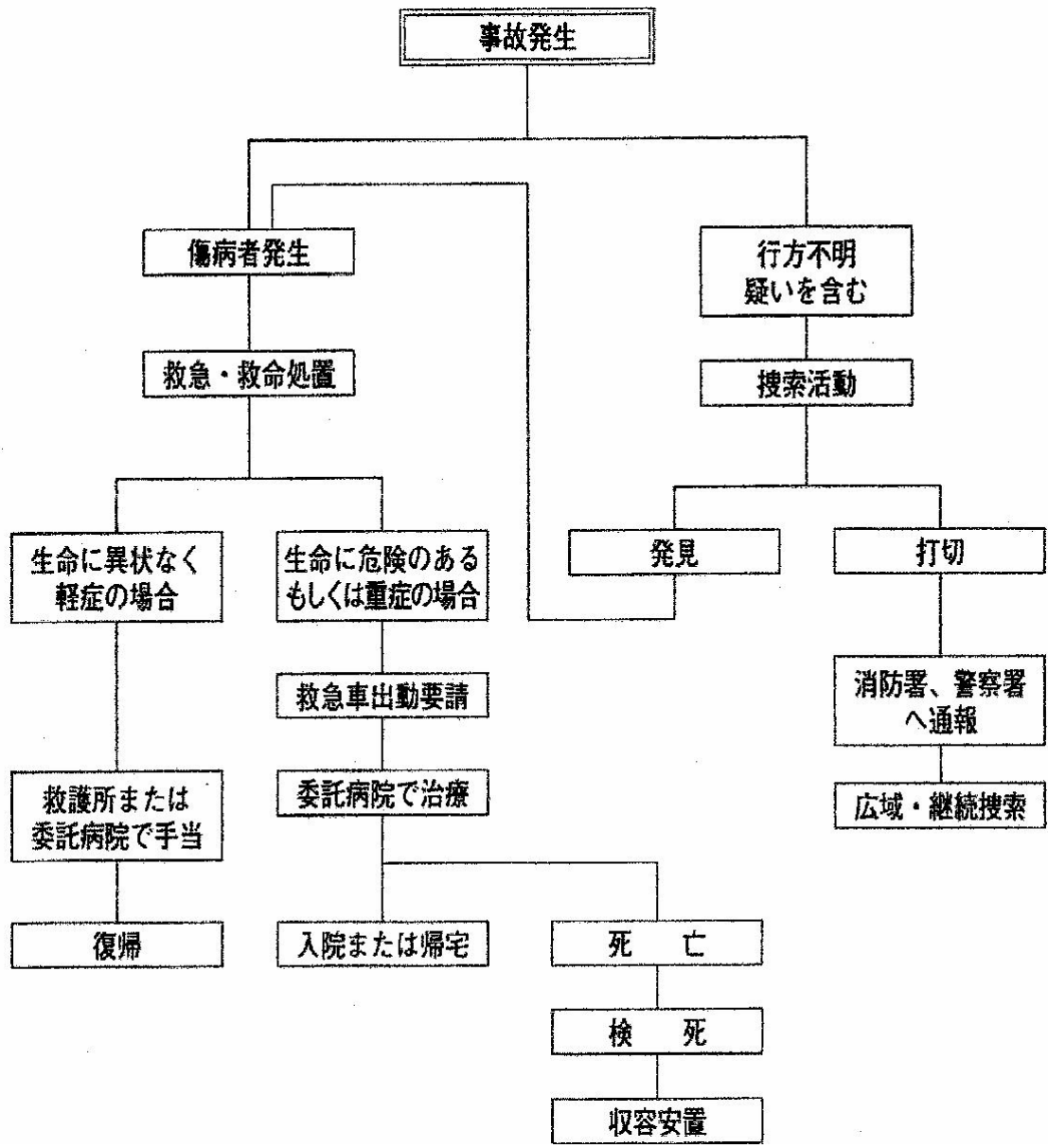
救急・救護の対応について

- (1) 傷病が発生した場合、各自で手当できる程度のものについては、各隊長等引率者で処理する。ただし、必ず救護所へ報告をする。
- (2) 発生した傷病の内容が、医師の診断を受けなければならないものであると判断した場合は、救護所に申し出る。
- (3) 救護所は、申し出を受けたら場外の所定の病院等へ参加者を搬送または救急車を手配する。
- (4) 医師の診断を受けるかどうかの判断に迷うときは、救護所へ連絡する。
- (5) 場外の病院等での診察治療費は自己負担とする。参加者は、個人健康保険証とかかりつけの病院名・電話番号を記入したものを携帯すること。
- (6) 参加するスカウトは、障害保険に入っておくこと。
- (7) 隊長等引率者は、スカウト緊急連絡先を把握しておくこと。

救急手当の一般的注意事項

当事者の生命を救うため沈着冷静、迅速、的確に、次の処置をとること。

- (1) 意識の有無、障害の状態や病状を考えて、楽な姿勢で寝かせる。
- (2) 重度の傷病者は、出血の状況、意識の有無、呼吸の有無、心臓停止の有無、脈拍の状態、体温の状態、の有無を調べる。
- (3) 一刻も早く手当を要する事故者は、すばやく手当する。
 - 出 血 . . . 止血
 - 呼吸停止 . . . 人工呼吸
 - 心臓停止 . . . 心臓マッサージ
 - 熱 傷 . . . 水をかけて冷やす
 - 意識不明 . . . 窒息防止、症状観察
 - 捻挫・骨折 . . . 固定して冷やす
- (4) 寒さを防ぐため毛布等で保温する。
- (5) 事故者が、次のような状況の場合には飲み物を与えない。
 - 意識のない場合
 - 頭部、胸部、腹部を損傷している場合
 - 手術を必要としている場合
 - 吐き気のある場合
 - 直ぐに医師の診断が受けられる場合
- (6) 搬送前に事故者の様子をよく観察する。



わたしたちでできる「新型インフルエンザ」の予防と対策

まず、予防がたいせつ !!

うがい・手洗いの徹底

うがい・手洗いは、のどの粘膜や手指など身体に付いたインフルエンザウイルスを除去するために有効です。

手洗いは石鹸を使って最低15秒以上洗いましょう。手の甲、手のひら、指の間まで丁寧に洗いましょう。

熱 せき くしゃみなどの病状がある人は、マスクをつける

外出するときは、マスクを必ず着用しましょう。

咳エチケットに心がけよう

咳・くしゃみの際には、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけ1m以上離れること。

病状があるとき !!

あらかじめ、受診をしようとする医療機関に電話連絡し、受診時間・受診場所等を問い合わせること。

受診の際は、マスクを着用すること。

新型インフルエンザまめ知識

1. 新型インフルエンザは、潜伏期間が約1日で感染がはやい
2. 39度の熱が突然でたり、せき、のどの痛み、関節痛がある
3. 発熱があったら、電話をしてからマスクをして病院へかかる
4. 隊長（指導者）へ連絡をすること
5. 集団内の感染拡大を可能な限り防止する

新型インフルエンザにかかったら、すぐ隊長に連絡をして、指示を仰いでください!!

